MINOX
VISIBLE INNOVATION

ミノックス・デジタルクラシックカメラ

DCC 14.0

取扱説明書

目次

仕　様 ---------- 3
安全で快適にお使いいただくために -------- 4-5
各部の名称 ---------- 6-7
バッテリーの入れ方---------- 8
バッテリーを充電する ---------- 8-9
電源のON/OFF---------- 9
SDカードを入れる ---------- 10
距離設定---------- 10
画質設定／Quality---------- 11
写真／Camera、動画／Movie切替え ------- 12
セルフタイマー設定／Self Timer ---------- 13
ホワイトバランス設定／WB---------- 14
露出値設定／EV---------- 15
画像に日時を入れる／Time Stamp --------- 16
撮影する　写真撮影／Camera ---------- 17
　　動画撮影／Movie ---------- 17
デジタルズームを使う---------- 18
カメラのディスプレイで画像を再生する
　写真の再生 ---------- 18
　動画の再生 ---------- 19
　スライドショー形式で見る ---------- 19
画像を削除する／Delete
　画像を1つずつ削除する ---------- 20
　全画像を消去する---------- 20
画像をコンピュータにダウンロードする---- 21
MINOX DCC用ストロボの使用（別売）-------- 22-23
三脚の使用（別売）---------- 23
カメラの設定を変更する
　Setup ／設定メニューを開く---------- 24
　Format ／SDカードメモリの初期化------- 24
　Auto Off ／オートオフの設定---------- 25
　Buzzer Off ／ブザー解除 ---------- 25
　Settings ／設定 ---------- 26
　→Default ／初期設定に戻す---------- 26
　→FW Upgrade ／アップグレード --------- 26
　Set Time ／日時の設定---------- 26-27
　Language ／言語の変更（欧文のみ） ------- 27

仕様

有効画素数	1400万画素
撮像素子	14.0メガCMOSセンサー
記録画素数	4,352 x 3,264ピクセル 640 x 480ピクセル
メモリ	SD/SDHCカード （32GBまで対応）
ファインダー	ガリレオタイプ 光学ファインダー
ディスプレイ	2インチTFTカラーモニター
フラッシュ	DCC用ストロボ（別売）
レンズ	Minoctar デジタルレンズ （IRフィルタ付ガラスレンズ）
レンズ構成	5枚構成
焦点距離	7.4mm（35mm換算45mm相当）
絞り値	F2.4
デジタルズーム	4倍

撮影範囲	0.5m～∞ 距離設定：0.5m、1m、∞
ホワイトバランス	オート、デイライト、曇り、 室内、タングステン
シャッタースピード	自動
セルフタイマー	10秒
電源	充電式 リチウムイオンバッテリー
自動電源off	60秒/120秒/180秒、 またはOFFモード選択可
ファイル形式	スチル：JPEG ビデオ：AVI
パソコン接続	USBケーブル
システム環境	Windows XP / Vista / 7
	Mac OSX
サイズ	74 × 47 × 49mm
重量	約113.5g

安全で快適にお使いいただくために

ご注意

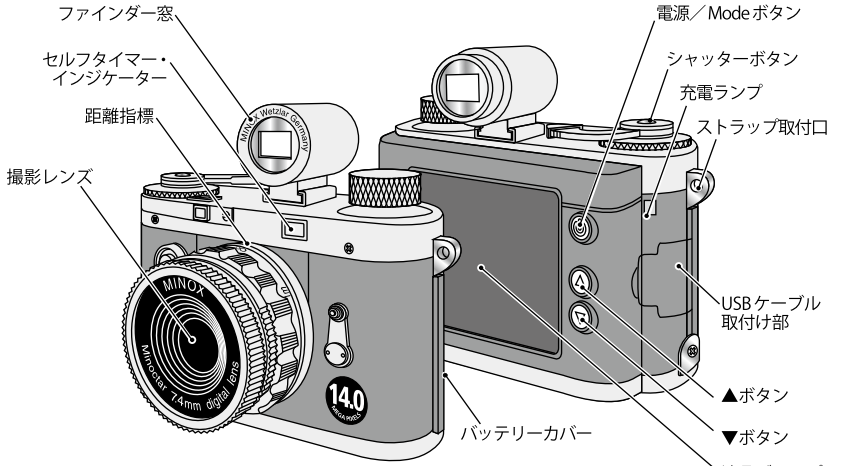
本製品を安全で快適にご使用いただくために、ご使用の前に以下の注意事項をよくお読みの上、正しくお使いください。また、これらの注意事項はカメラ使用者やその周辺の方々に危害や損害が起きるのを未然に防ぐためのものでもあります。
以下の事項が守られずにカメラに故障が生じた場合、保証は適用されません。

※本製品は精密機器です。雨や雪、その他の液体や、砂などの異物が内部に入らないよう注意し、落下や重いものを乗せるなど、乱暴に扱わないでください。特に液晶部を強く押したり、傷付けないようにご注意ください。
※使用済みバッテリーは、各自治体指定の方法で廃棄してください。
※バッテリー交換の際は、＋－接点を正しく入れてください。バッテリーの破裂・液漏れなどにより危険です。
※本書に指定されている方法以外でバッテリーを充電しないでください。爆発して大怪我の危険があります。カメラ／バッテリーおよびSDカードや中のデータが破損する可能性もあります。
※バッテリーを火に近付ける、ショート、分解、加熱、本書に記載以外のバッテリーの使用はおやめください。爆発して大怪我の危険があります。
※カメラを長期間使用しない場合は、バッテリーを取り外し、カメラとバッテリーはそれぞれ湿気のない場所で保管することをお勧めします。
※水没や水濡れなどで、カメラ（バッテリー）内部に水が入った場合や、熱くなる、煙が出る、焦げ臭いなどの異常が起きた場合、そのままの状態で使用すると火災、火傷、感電の原因になります。火傷しないように注意してバッテリーを取り出し、速やかに弊社サービス部までご連絡ください。
※監視の目が行き届かない状況でカメラを放置したり、コンピュータに接続したままにしないでください。
※カメラ本体やバッテリーは、小さなお子様の手の届かない場所で保管・使用してください。バッテリーを飲み込んで胃腸を損傷したり、ストラップを首に巻き付け、窒息する危険があります。
※ストラップ装着時は、他に引っ掛けないようにご注意ください。怪我や破損等の原因となります。
※カメラを絶対に分解しないでください。カメラ内部には高電圧回路があり、感電の危険性があります。
※予告無しに人に向けてフラッシュを使用しないでください。事故や目を傷める危険性があります。
※歩行中や自動車等の運転中は絶対にカメラを操作しないでください。交通事故の原因となります。

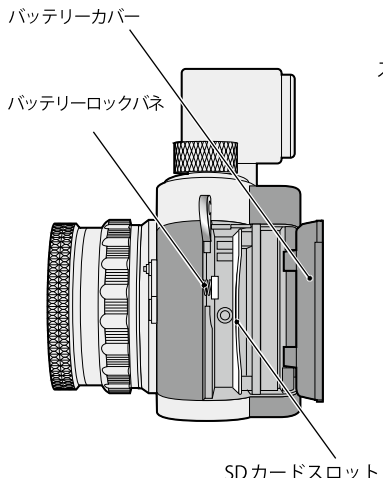
カメラの保管・メンテナンスに関して

※カメラの保管は、直射日光の当たる場所、極端に高温や低温の場所、強い磁気を発生する場所、化学薬品やビニール/ゴム製品に接触する場所を避けて、水気や湿気、埃のない場所で保管してください。
※カメラ本体の清掃は、バッテリーを抜き、コンピュータとの接続を切ってから柔らかい布で拭いてください。クリーニング剤は絶対に使用しないでください。
※レンズや液晶は軽く埃を飛ばしてから、少量のレンズクリーナーなどを使って柔らかい布で拭いてください。
※硬い物や尖った物が、レンズや液晶と接触しないようにご注意ください。

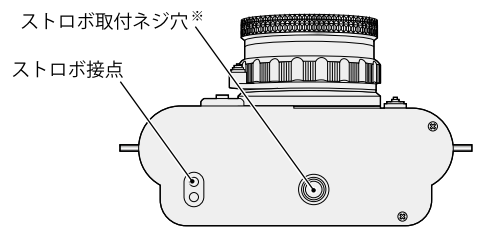
各部の名称



前面　　背面



側面



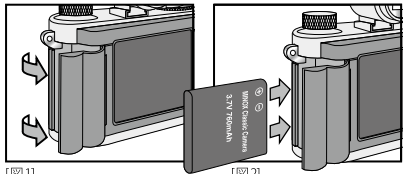
底部

ご注意

※DCC 14.0底部にあるネジ穴は、本来専用ストロボ用の取付けネジ穴です。無理に三脚ネジなどを入れると破損する可能性があります。三脚をご使用になる場合は別売の三脚アダプター（JAN.4962420603208）を介することで、1/4インチネジ穴対応の三脚もお使いいただけます。（P23「三脚を使用する」参照）

※実像式ファインダーは、ここから覗いた画角と実際の撮影画像とではパララックス（視差）が生じます。フレーミングは基本的に液晶画面で行うことをお勧めします。

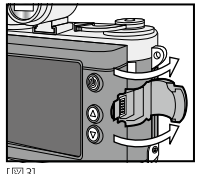
バッテリーの入れ方

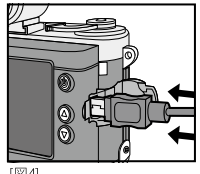

[図1]

[図2]

カメラのバッテリーカバーを開きます。
（図1）
バッテリーロックバネ（P7参照）を、バッテリーで押さえつけながら挿入します。（図2）
バッテリーロックバネがハネ上がることでバッテリーがロックされたことを確認し、カバーを閉じてください。
※バッテリー着脱時に画像が影響を受けることはありません。
※初期充電が完了するまでは使用できません。

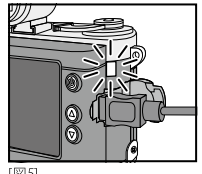
バッテリーを充電する

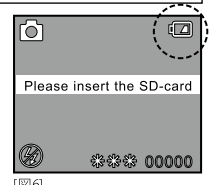

[図3]


[図4]

USBケーブル取付け部を開きます。[図3]
カメラの電源を切り、USBケーブル（付属）の小さな方のコネクタをカメラに差込みます。
[図4]

コンピュータ経由で充電する：
USBケーブルの大きな方のコネクタをコンピュータのUSBポートと接続して充電します。
ACから直接充電する：
USBケーブルの大きな方のコネクタをACアダプタ（付属）に装着してコンセントに差し込み、充電します。


[図5]

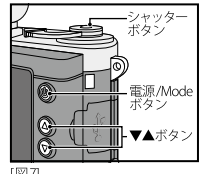


[図6]

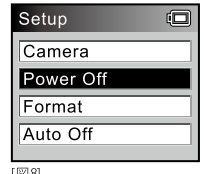
充電ランプ：
充電中は充電ランプ（グリーン）が点灯します。[図5]
このランプが消えれば充電は完了です。

※画面にアイコンが表示されたらバッテリー残容量が少なくなっています。速やかに充電してください。[図6]
※USBケーブルを取付ける際は、しっかり差込んでください。取付けが不十分な場合、接点が触れることで充電ランプが点灯しますが、充電はされません。

電源の ON/OFF



[図7]

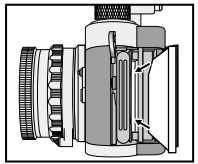


[図8]

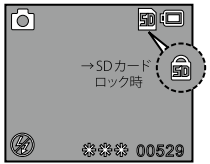
電源ON
電源/Modeボタンを押すと電源が入り、カメラのディスプレイの左上に、写真（または動画）モードアイコンが表示されます。

電源OFF
写真（または動画）モードから電源/Modeボタンを2回押して『Setup』メニューを表示します。
▼ボタンを押して『Power Off』を選択 [図8] し、シャッターボタンを押すと電源が切れます。

SD カードを入れる



[図9]

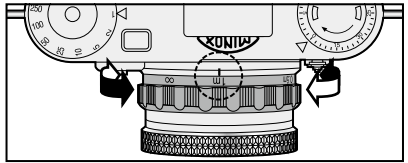


[図10]

バッテリーカバーを開き、付属のSDカードを正しい方向（SDカードの接点が液晶ディスプレイ側）に入れてください。[図9]
SDカードが挿入されると、ディスプレイ右上にSDアイコンが表示されます。[図10]

※SDカードがロック（保護）されているとカードロックアイコンが画面に表示され、撮影できません。[図10]

距離設定

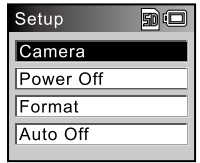


[図11]

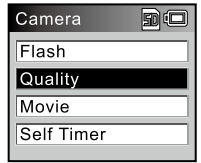
カメラに搭載されているレンズは被写体までの撮影距離を選択できるようになっています。
レンズのリングで希望の撮影距離を選んでください。[図11]

∞（無限遠）：1.5mから無限遠まで
1m　　：0.7mから1.5mまで
0.5m　　：0.5mから0.7mまで

画質設定／ Quality



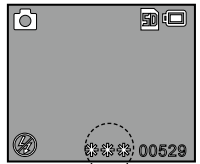
[図12]



[図13]

画質設定（写真モードのみ）を変更するには、『Setupメニュー』（P9「電源のON/OFF」参照）から、▼▲ボタンで『Camera』を選択してシャッターボタンを押します。[図12]
『Quality』を選び、シャッターボタンで『Qualityメニュー』にします。[図13]
▼▲ボタンで『Low（低解像度）』『Normal（中解像度）』『High（高解像度）』の３段階の画質設定から設定を選ぶことができます。
[図14]
シャッターボタンを押して選択します。

[図14]

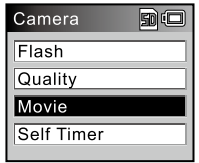


[図15]

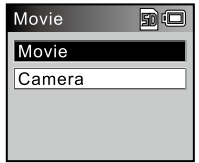
画質設定後に電源/Modeボタンを押して写真モードにすると画面下に∗マーク（Low:∗／Normal:∗∗／High:∗∗∗）が表示されます。[図15]
付属のSDカード（4GB）による撮影可能枚数は
- Low（∗）：約1,692枚
- Normal（∗∗）：約1,128枚
- High（∗∗∗）：約692枚

※ピクセル数はすべて4320×3264 pixelです。圧縮率の違いにより保存枚数は異なります。
※撮影可能枚数の目安です。実際は被写体などにより多少異なります。

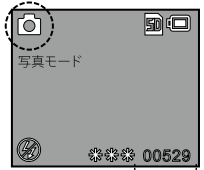
写真／ Camera、動画／ Movie 切替え



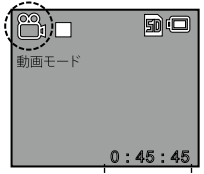
[図16]



[図17]



[図18]



[図19]

撮影可能枚数　撮影可能時間

初期設定は、Camera（写真）モードです。

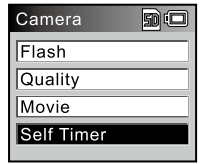
写真（または動画）モードから電源/Modeボタンを2回押してSetupメニューを表示し、シャッターボタンを押してCameraメニューを開きます。
▼▲ボタンで『Movie』を選び、シャッターボタンを押してMovieメニューを表示します。[図16]
『Camera』（写真）または『Movie』（動画）を選び、シャッターボタンを押します。[図17]
画面は『Setup』メニューに戻ります。

SetupメニューからModeボタンを押すと、写真（または動画）モードになり、いずれかのアイコンがディスプレイ左上に表示されます。[図18] [図19]

右下の数値は写真モードの場合は撮影可能枚数、動画モードの場合は撮影可能時間が表示されます。

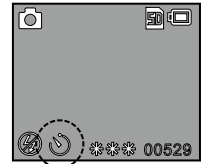
※装填しているSDカードの容量、被写体、画質設定（P11「画質設定」参照/写真モードのみ）により異なります。

セルフタイマー設定／ Self Timer

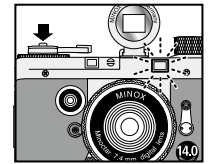


[図20]

[図21]



[図22]



[図23]

セルフタイマーを設定すると10秒後にシャッターが切れます。この設定は解除するか一度電源を落とさない限り機能します。
※動画モードでは使用できません。

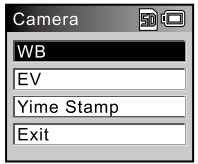
写真モードからModeボタンを2回押してSetupメニューにします。
▼▲ボタンで『Camera』を選び、シャッターボタンを押すとCameraメニューを表示します。
『Self Timer』を選び、シャッターボタンを押すとSelf Timerメニューになります。 [図20]
『On』を選び、シャッターボタンを押します。[図21]

Modeボタンを押して、写真モードにすると画面にセルフタイマーアイコンが表示されます。 [図22]
構図を決めてシャッターボタンを押すと、自動的に10秒後にシャッターが切れます。

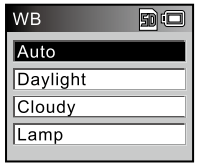
タイマー作動中は、シャッターが近づくにつれカウントダウン音が徐々に早くなり、セルフタイマー表示窓が赤く点滅します。 [図23]

解除する際はSelf Timerメニューの『Off』を選んでシャッターボタンを押します。

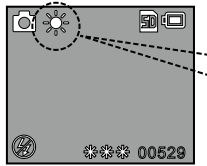
ホワイトバランス設定／ WB



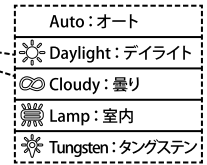
[図24]



[図25]



[図26]



[図27]

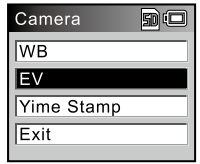
ホワイトバランスを調整すると、曇りや室内でも自然な写真を撮ることができます。

写真📷または動画🎥モードからModeボタン⏻を2回押してSetupメニューにします。
▼▲ボタンで『camera』を選び、シャッターボタンを押すとCameraメニューを表示します。
『WB』を選び、シャッターボタンで決定します。[図24]
『WB』メニューが表示され、▼▲ボタンで5種類から選択することができます。[図25]

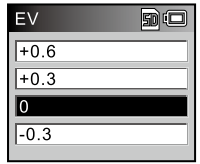
上記より選択したら、再度シャッターボタンを押して決定します。

Modeボタン⏻を押して、写真📷モードにすると画面左上に選択したWBアイコンが表示されます。[図26]
WBアイコンは[図27]のとおりです。

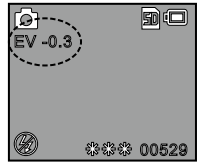
露出値設定／ EV



[図28]



[図29]



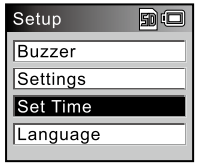
[図30]

このカメラは通常は自動的に適正な露出値を選択しますが、マニュアル調整が望ましい場合があります。暗い被写体が全体画像の大きな部分を占める場合にはEV値をゼロから上げ(+)、明るい被写体が大きな部分を占める場合にはEV値を下げます(−)。

写真📷モードからModeボタン⏻を2回押して『Setup』メニューにします。
▼▲ボタンで『camera』を選び、シャッターボタンを押すとCameraメニューを表示ます。

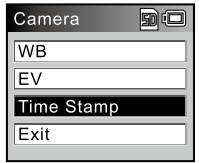
『EV』を選び、シャッターボタンで決定します。[図28]
EVメニューが表示され▲▼ボタンで必要な調整EV値を選んでください。[図29]
調整値は±0.3EV刻みで+1.8から−1.8まで設定することができます。
選んだら、再度シャッターボタンを押して決定します。
Modeボタン⏻を押して、写真📷モードにすると画面左上の写真モードアイコンの下に設定したEV値が表示されます。[図30]

画像に日時を入れる／Time Stamp

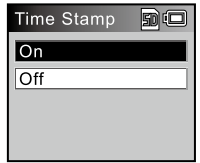


[図31]

[図32]



[図33]



[図34]

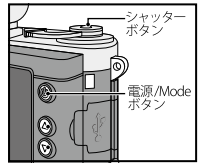
画像に撮影日時を記録することができます。

日時の設定(詳しくはP26「日時の設定」参照)は、写真📷または動画📹モードからModeボタン⏻を2回押してSetupメニューにします。
▼▲ボタンで『Set Time』を選び、シャッターボタンを押してSet Timeメニューにします。[図31]
『西暦』、『月』、『日』、『時間』、『分』の順に▲▼ボタンで設定し、シャッターボタンで決定すると次の項目が反転します。[図32]
最後にシャッターボタンで設定が完了し、Setupメニューに戻ります。

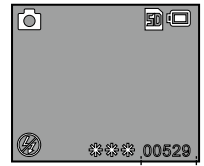
次にタイムスタンプを設定します。『Camera』を選び、Cameraメニューを表示します。
『Time Stamp』を選び、シャッターボタンを押します。[図33]
Time Stampメニューが表示されるので『On』を選び、シャッターボタンを押します。[図34]
設定が完了し、Setupメニューに戻ります。

ご注意:タイムスタンプは画像自体に年月日が記録され、後から削除できません。
設定した日時を維持するには、常に充電状態を維持してください。

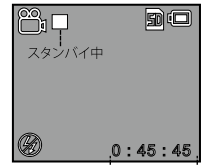
撮影する



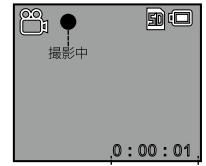
[図35]



[図36]



[図37]



[図38]

写真撮影／ Camera

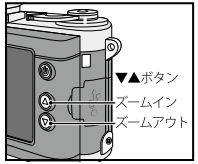
写真📷モードで被写体を確認します。
しっかりと構えてシャッターボタンを押します。
『ピッピ』と小さく音がすれば撮影完了です。
ディスプレイ右下のカウンタが1つ減ります。[図36]

※カメラにはフラッシュが搭載されていません。夕暮れや暗い場所ではストロボをご使用ください。(P22「DCC用ストロボの使用」参照)
※シャッター音を消すには、"ブザー"OFFに設定します。(P25「ブザー解除」参照)

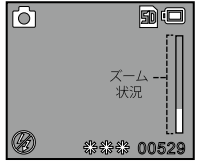
動画撮影／ Movie

動画📹モードで被写体を確認します。
録画スタンバイ中は画面左上に白の□が表示され、右下には録画可能な残り時間 (時/分/秒)を表示します。[図37]
シャッターボタンを押すと『ピッ』と音がして録画が開始、再度押すと『ピッ』と音がして録画が終了します。録画中は画面左上に赤の●が点灯し、右下には撮影経過時間 (時/分/秒) を表示します。[図38]

デジタルズームを使う



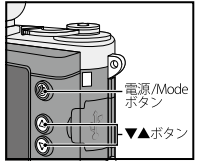
[図39]



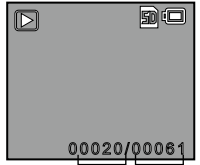
[図40]

デジタルズームは、写真または動画撮影時に4倍ズームまで使用することができます。
写真📷、または動画🎥モードのディスプレイ上で▼▲ボタンを使います。[図39]
▲でズームイン、▼でズームアウトし、ディスプレイにズーム状況が表示されます。[図40]
ズーム機能は、動画の撮影中でも使用する事ができます。

カメラのディスプレイで画像を再生する



[図41]



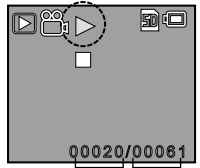
[図42]

写真の再生

写真📷または動画🎥モードからModeボタン⏻を1回押して再生▶モードにします。
[図41]
ディスプレイ左上に再生モードアイコン▶が表示され、画面下に表示されている数字は撮影画像の枚数と、表示している画像ナンバーです。[図42]

保存されている画像を選択するには▼▲ボタンを使ってください。

[図43]



[図44]

動画の再生

再生▶モードで左上に動画モードアイコン🎥が表示されている画像のみ、シャッターボタンを押すと『Playback』メニューが表示されます。シャッターボタンを押して『Play』を選択します
[図43]
ディスプレイ左上の動画再生アイコンが□から▶に変わり、動画の再生が開始します。[図44]

※再生を中止する場合はシャッターボタンを押してください。一時停止はできません。

[図45]

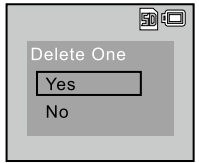
スライドショー形式で見る

撮影した画像を自動的に表示するように設定することができます。

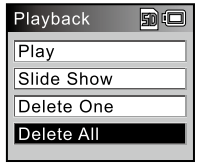
再生▶モードでシャッターボタンを押すと『Playback』メニューが表示されます。シャッターボタンを押して『Slide Show』選択します[図45]
スライドショーがスタートします。スライドショー中に再度シャッターボタンを押すとスライドショーが終了します。

画像を削除する／ Delete

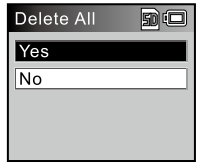
[図46]



[図47]



[図48]



[図49]

1枚ずつ削除／ Delete One

再生▶モードで、削除する画像を▼▲ボタンで選び、シャッターボタンを押して、Playbackメニューにします。
▼▲ボタンで『Delete One』を選びシャッターボタンを押します。[図46]
間違いを防ぐために削除される画像の上に『Yes』『No』が表示されます。[図47]
『Yes』を選び、シャッターボタンを押すと、選択画像のみ消去されます。

全画像を削除／ Delete All

再生▶モードで、シャッターボタンを押してPlaybackメニューにします。
▼▲ボタンで『Delete All』選び、シャッターボタンを押します。[図48]
『Yes』を選び、シャッターボタンを押すと、全画像が消去されます。[図49]

画像をコンピュータにダウンロードする

Windows XP/Vista/7およびMac OSXの場合、ドライバをインストールする必要はありません。この他のOSの場合は、SDカードから直接読み込んでください。

カメラをコンピュータに接続する

カメラをコンピュータに接続するときは、カメラの**電源を入れて**おきます。
その上で付属のUSBケーブルを使ってコンピュータに接続します。(小さいコネクタをカメラ側、大きいコネクタをコンピュータ側に接続します)

【注意】
※電源を切った状態でカメラをコンピュータに接続すると、USBケーブルを経由してコンピュータから電源が供給されてカメラのバッテリー電力を補います。
※USBケーブル装着時はコネクタ部をしっかり差込んでください。

カメラから画像をダウンロードする

Windows XPの場合：『マイコンピュータ』を開くと、『リムーバブルディスク』のアイコンが表示されます。

Windows Vista/7の場合：『コンピューター』を開くと、『リムーバブルディスク』のアイコンが表示されます。

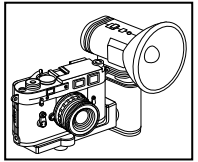
Macintosh OSXの場合：デスクトップに『NO NAME』のアイコンが表示されます。

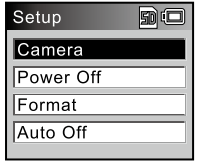
それぞれのアイコンを開き、中のフォルダを開いていくと、撮影画像が表示されます。

SD カードから画像をダウンロードする

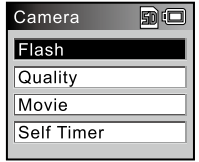
SDカードをカメラから取り出し、直接コンピュータのSDカードスロットに入れて(またはカードリーダーを介して)読み込むことで、いずれのコンピュータでも撮影画像をダウンロードすることができます。

MINOX DCC用ストロボの使用（別売）

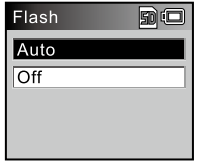

[図50]



[図51]



[図52]

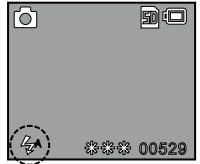


[図53]

このカメラには内蔵フラッシュが搭載されていません。夕暮れ時や、暗い場所での撮影には、別売オプションのMINOX DCC用 ストロボ（JAN.4962420603116）をお勧めします。
※フラッシュは写真モードのみ有効です。

電源を切った状態でカメラにフラッシュを取り付けます。（取付け方法の詳細はフラッシュの取扱説明書をご覧ください）
しっかりと取付けられていることを確認してからフラッシュの電源を入れてください。

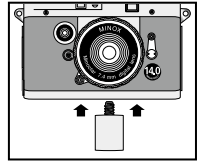
カメラの電源を入れます。
写真モードからModeボタンを2回押して『Setup』メニューにします。
▲▼ボタンで『Camera』を選び、シャッターボタンを押して Cameraメニューにします。[図51]
『Flash』を選び、シャッターボタンを押します。[図52]
Flashメニューが表示されるので、『Auto』を選びシャッターボタンを押します。[図53]
Modeボタンで写真モードに戻り、画面左下にマークが表示されます。[図54]

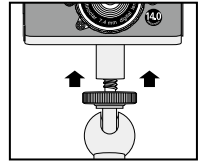


[図54]

【フラッシュに関するご注意】
※フラッシュには必ず適切なバッテリーをご使用ください。
※フラッシュを『Auto』モードにすると、カメラのバッテリーを抜いたりバッテリーが切れるまでモードは継続します。
※バッテリーが切れるとフラッシュ『Off』モードとなるので、再度設定する必要があります。また、自動フラッシュモードでカメラが周囲が明るいと判断した場合には、フラッシュは発光しません。

三脚の使用（別売）

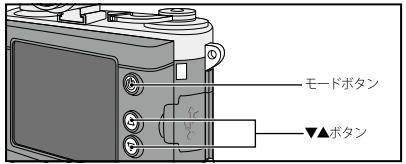

[図55]


[図56]

DCC 14.0底部にあるネジ穴は、DCC用ストロボ専用ですが、別売の三脚アダプター（JAN.4962420603208）により、MINOX ポケット三脚（JAN.4962420603260）などの1/4インチネジ穴対応の三脚もお使いいただけます。

DCC本体に三脚アダプターのネジ部分をねじ込みます。[図55]
次に三脚アダプターのネジ穴に三脚のネジをねじ込みます。[図56]
※MINOXポケット三脚に内蔵されているレリーズケーブルはご使用いただけません。

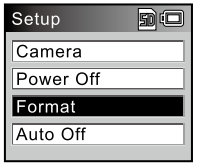
カメラの設定を変更する



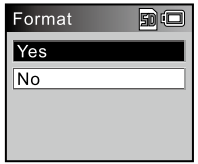
[図57]

Setup ／設定メニューを開く

カメラの設定を変更する際は、写真（または動画）モードからModeボタンを2回押して『Setup』メニューを表示します。
▼▲ボタンでいずれかの設定を選択します。
[図57]



[図58]

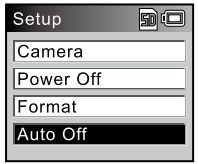


[図59]

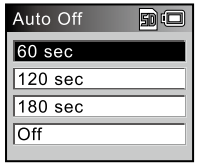
Format ／ SDカードメモリの初期化

カードのメモリを初期化して(全画像を消去）メモリ容量を確保することができます。

Setupメニューから『Format 』を選び、シャッターボタンを押してFormatメニューにします。[図58]
Formatメニューの『Yes』を選びシャッターボタンを押すと全画像が全て消去され、初期化されます。[図59]
※一度初期化したデータは復旧できません。



[図60]

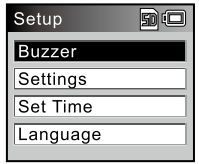


[図61]

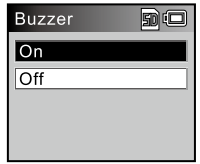
Auto Off ／オートオフの設定

オートオフ機能の設定時間を変更、または解除することができます。

Setupメニューから『Auto Off 』を選びシャッターボタンを押して、Auto Offメニューにします。[図60]
希望時間を『60 sec 』(60秒)、『120 sec 』(120秒)、『180 sec 』(180秒)、または『OFF 』(オートオフ解除）から選択し、シャッターボタンを押して決定します。[図61]



[図62]

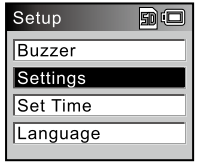


[図63]

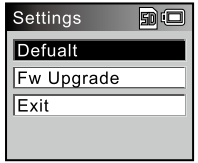
Buzzer Off ／ブザー解除

初期設定では操作ボタンを押すと音が鳴るように設定されています。これは解除することができます。(操作音は非常に小さなものです)

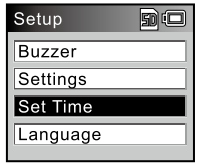
Setupニューから『Buzzer』を選び、シャッターボタンを押して、Buzzerメニューにします。[図62]
『Off』(ブザーオフ）を選択して、シャッターボタンで決定します。[図63]
再び音を鳴らす場合はBuzzerメニューの『On』(ブザーオン）を選びます。



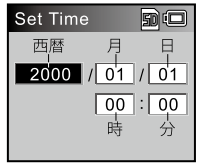
[図64]



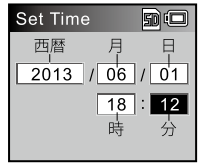
[図65]



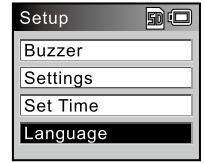
[図66]



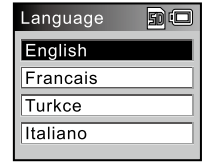
[図67]



[図68]



[図69]



[図70]

Settings／設定

→Default／初期設定に戻す

カメラを初期設定に戻すには、Setupメニューの『Settings』を選び、シャッターボタンを押してSettingsメニューにします。[図64]
次に『Default』を選択してシャッターボタンを押すと初期設定に戻ります。[図65]

→FW Upgrade ／アップグレード

SDカード挿入時のみ『FW Upgrade)』が現れますが、これは機能的には使用しません。

→Exit ／終了　前画面に戻ります。

Set Time／日時の設定

カメラに日時の設定をしておくことで画像に撮影日時を記録することができます。(写真のみ)

Setupメニューの『Set Time』を選び、シャッターボタンを押してSet Timeメニューにします。[図66]
まず『西暦』から設定します。[図67]
数値を▲▼ボタンで設定し、シャッターボタンで決定すると次に『月』が反転します。
同じ要領で『日』、『時間』、『分』の順に設定します。[図68]

最後にシャッターボタンを押すと日時が設定され、Setupメニューに戻ります。

※ご注意：設定した時間を保つには、バッテリーを外さず充電状態を維持してください。
※一度、シャッターボタンで決定すると、前の項目には戻れません。この場合は再度Set Timeメニューからやり直してください。

Language ／言語の変更 (欧文のみ)

画面上の言語を変えることができます。
Setupメニューから、『Language』を選び、シャッターボタンを押します。[図69]
『English』(英語)、『Francais』(フランス語)、『Turkce』(トルコ語)、『Italiano』(イタリア語)、『Deutsch』(ドイツ語)、『Espanol』(スペイン語)の6カ国語から選択できます。[図70]
ご希望の言語を選んでシャッターボタンを押して決定します。
※日本語はありません。

MINOX 日本総代理店

KPI

株式会社 ケンコープロフェショナルイメージング

〒 161-0031

東京都新宿区西落合 3-8-19 いすゞビル

TEL 03-5988-7500

FAX 03-5988-7354

www.kenko-pi.co.jp

製品の修理・お問い合わせは…

お買い上げいただいた製品の点検や、故障の際の修理につきましては、お買い上げの販売店、または下記までお問い合わせください。

TEL.03-5988-7500

●"MINOX""ミノックス"はドイツ、MINOX GmbH 社の登録商標です。

●この取扱説明書は2013年6月現在のものです。

●この取扱説明書に記載の製品に関する外観・仕様などは予告無しに変更する場合があります。